

群馬県内企業のデジタル人材育成の取り組み

群馬経済研究所 研究員 稲田純也

調査のポイント

企業におけるデジタル人材育成の促進に向けて、その現状と課題、行政の支援策を整理した後に、県内企業の事例を紹介する。

要約

- 大多数の企業ではデジタル人材の確保が進んでいない状況である。その要因として、自社に必要なデジタル人材像が明確になっておらず、採用や育成につながっていないことが考えられる。
- 経済産業省のホームページに公開されている「デジタルスキル標準」には、デジタル人材の役割や習得すべきスキルが定義されており、デジタル人材の育成を進めたい企業にとって参考になるだろう。行政の支援策を積極的に活用することが望ましい。
- 県内においてデジタル人材の育成に取り組む企業へのヒアリング結果を基に考察すると、企業でのデジタル人材の育成のポイントとしては、①デジタルスキルの底上げ、②実践機会の提供、③社外ネットワークの活用が挙げられる。
- デジタル人材の育成が進むことで、デジタル化・DXが加速し、企業のさらなる成長につながることを期待される。